



1 月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160

とちぎ

# 県民だより

県民の皆様、  
あけましておめでとうございませす

早いもので、知事となって一年余が経過いたしました。この間、「とちぎ21世紀プラン」を策定し、「とちぎから創る二十一世紀の日本」という気概を持って県政を進めて参りました。今年、プランの目標達成に向けた道筋を確たるものにしていかねばならないと、思い新たに新年を迎えたところです。

さて、現在は、国内の経済の先行きに対する不安、不透明感が強まっております。

一方、少子高齢化や社会経済のグローバル化、地球規模での環境との共生など、将来の世代と共有すべき様々な課題も顕在化しており、社会・経済のシステムや私たちの意識の大きな転換が求められています。

私は、このような時であればこそ、未来を見通す確かな目と困難に立ち向かう熱意をもって、二百万県民と力を合わせ新しい時代の基礎を築いていかなければならないと考えております。

そして、県民一人ひとりが自立し豊かに暮らし、譲り合い支え合う心を持って生きる栃木県、すなわち「分度推譲立県とちぎ」をつくりあげて参りたいとの思いを強くしております。

本年が県民の皆様にとって幸多き素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げます。

栃木県知事 福田昭夫







# 二宮尊徳翁の足跡



二宮尊徳（金次郎）は、小田原の農家に3人兄弟の長男として生まれました。幼くして父母を亡くした後に一家離散。この頃、一握りの菜種や捨苗を栽培し「積小為大」を体得したと言われます。伯父の家に預けられた尊徳は、昼は農作業、夜は学問に励み、24歳で生家の再興を果たしました。

その後、小田原藩から下野国桜町領（現在の二宮町、真岡市）の建て直しを命ぜられ、桜町に移ったのは37歳の時。尊徳は、毎日すみずみまで村を見て回り、表彰制度を取り入れるなど村人の心の開発に力を入れ、10年をかけて復興に成功しました。その実績は藩主から「徳を以て徳に報いる」と賞賛されます。

尊徳は桜町復興の後、真岡、宇都宮、茂木など県内各地の農村復興にその手腕を発揮しました。晩年には今市に移り、荒廃した日光神領の復興事業に全力をあげ、70歳でその生涯を閉じました。

「自然の恵み（徳）に感謝し、自分が信じたことを力いっぱい行うことが、豊かな社会を作る」という尊徳の教え（報徳仕法）は、今日に至るまで多くの人たちによって継承・実践されています。



## 略年表

西暦（年号）	年齢	
1787(天明7年)	1	相模国足柄上郡栢山村（現在の小田原市）に誕生
1800(寛政12年)	14	父・利右衛門が病死する
1802(享和2年)	16	母・よしがが病死。一家離散
1806(文化3年)	20	独立し、二宮家の再興に着手する
1812( " 9年)	26	小田原藩家老服部家の若党となる
1818(文政元年)	32	服部家の家政再建を開始
1822( " 5年)	36	小田原藩の役人となる。桜町領の復興を命ぜられる
1823( " 6年)	37	田畑・家財を処分し、一家をあげて桜町に移住
1829( " 12年)	43	成田山で断食参籠。以降、桜町の復興順調に進む
1831(天保2年)	45	桜町の復興完了
1835( " 6年)	49	谷田部・茂木藩の復興開始
1836( " 7年)	50	烏山藩を援助
1842( " 13年)	56	幕府に登用される。尊徳と名乗るようになる
1846(弘化3年)	60	日光仕法雛形完成
1853(嘉永6年)	67	日光神領復興を命ぜられる
1855(安政2年)	69	今市報徳役所に移る
1856( " 3年)	70	永眠



## ゆかりの地



**桜町陣屋(二宮町)**  
尊徳は、桜町での26年間、ここを拠点に桜町や県内各地の農村復興を行いました。現在、復元された内部を閲覧できます。隣接の二宮尊徳資料館では、尊徳のゆかりの品や足跡が紹介されています。

●二宮尊徳資料館 二宮町大字物井2013-2  
☎0285-75-7155



**二宮堰(今市市)**  
県内には報徳仕法により作られた堰が数多く残されています。この二宮堰は日光神領における最初の大事業として嘉永7年に作られたもので、全長6.3km。日光市松原町付近の大谷川から取水し、今市市千本木を流れる田川に落水しています。現在も今市地域の農業に欠かせない用水堰となっています。



**二宮堰(宇都宮市)**  
安政2年、台地上のため水不足に悩まされていた宝木十ヶ新田の村人に頼まれ、尊徳が設計した堰。尊徳が亡くなった後、安政6年、弟子の吉良八郎が完成させました。この堰から水を分けた宝木用水は、今も当時と変わらず宝木台地を潤しています。現在、堰は復元改修され、親水公園として親しまれています。

※資料協力:宇都宮市、今市市、二宮町



**一瀬** 栃木県とは随分長いお付き合いになると言えますね。  
**童門** はい。で、特にね、私のライフワークにしている長編小説ですが、二宮金次郎さんがいるわけですね。福田知事は大変な研究者であるし、いろんな見識を持っておられるので、おつき合いの中で学ぶことが非常に多いですね。  
**一瀬** 最初にお会いになったときの知事のご印象はいかがだった

いところ（徳）を生かしてね、感謝をしていこう」という考え方に立って、やってこられた方なんです。しかも、現場にしっかりと腰を据えて計画を立てていく。現場主義と言いますか、そういう見事な方であったかと思つてます。  
**一瀬** 童門さんは歴史小説家というお立場から、どのように評価されていらっしゃるのでしょうか。  
**童門** 今、知事が言われた、「だ

**童門** そうです。そうです。ただ、大事にしなければなりません。大事にしているのは福田知事だけ。  
**知事** (笑い)  
**一瀬** 知事は就任後、四つの職務指針というのを掲げられました。二宮尊徳翁の教えを生かしていらっしゃる。  
**知事** そうです。留岡幸助という方が二宮先生の教えを五つにまとめられてるんです。この五つを「自立自助」「積小為大」「他愛推譲」「共同一致」の四つにまとめ、職員の職務指針にしました。二宮先生の考えを私流に解釈させていただきますと、「人間はまず自分を助け、一生懸命働く。小さなことをコツコツと積み重ねて初めて大きいことができる。そのためには、他人を愛し奉仕できるものは、どんどん奉仕をして、共同一致をしていかなければ、よい職場づくり、よい村づくり、まちづくりはできない」ということなん

でしょう。  
**童門** 今日のテーマの「ひと、まち、こころ」で言えば、こころの方をね、もうちょっと大事にしたいなということ。金次郎さんが小学校の庭でまきを背負って読んだ本、「大学」って本なんです。中国の。何が書いてあるかという、他人の立場に立って、全てものごとを考えていきましたよ。温もりを教えているわけなんです。金次郎さんの報徳仕法の根拠っていろいろはそれなんですよ。  
**一瀬** こころの時代ということでしょうか。  
**童門** はい。  
**一瀬** 知事はどのようにお感じですか。  
**知事** 今、童門先生がおっしゃったのは、二宮先生の教えにある「他愛推譲」ということですね。他人を愛して、自分が譲れるものを譲る。何でもいいんです。気持ちを譲れるという人もいますでし

心の教育なんです。先生は「心の開発」と言っておられますけれども、いい人間がたくさん出てくれば、いいまち、いい県につながるっていいんだということ。こういうお話なんです。  
私は、そういったところから県政を進めていく必要があるのではと思つています。  
**一瀬** まずは、人づくりから。ということですね。これからの若者にどういった期待をお持ちですか。  
**知事** はい。何と言つても二十一世紀の栃木県は若い人たちが創るわけですから、ぜひ、夢や希望を持って、それに向かって努力を重ねていただいています。二宮先生の言葉で言えば積小為大ですね。  
**一瀬** 童門さんはいかが



一瀬友里(いちのせ ゆり)さん  
県広報番組「クローズアップとちぎ」(とちぎテレビ)のキャスターとして活躍中

※この対談は、県広報番組の内容を要約したものです。

点目は、栃木の将来構想です。教育、人づくりを基本として、活力がある栃木県にしていくための長期的な構想。それをまとめるのに、全力を挙げていきたいと思つています。  
**童門** 栃木県をもう少し掘り起こしたいなど。私は人物というのに関心がありますんで、二宮金次郎さん以外の人で書かせていただきたいなど、そんなことを考えております。



# マロニエ ガイト



## 花 歳 時 記

### スギ (スギ科)

学名はクリプトメリア・ヤポニカ。日本特産の樹木です。まっすぐに育つので「すぎ」と名付けられました。日本の多くの住宅にはこの材木が使われており、まさに「とちぎ木の県推進運動」の中核をなす樹木です。

### ウォッチングポイント

杉並木を英語で言うと、クリプトメリア・アベニュー。朝の蒸散作用で、木立から蒸気が立ちのぼる刹那が一押しです。

## 県子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555

●天体観望会 1月26日(土)午後7時~9時  
●月、土星、木星など ●シドニー博士のなんじゃろ実験室 1月26日(土) ●博士とおかしな実験をしてあそびましょう ●バラエティーサイエンス 1月26日(土)・27日(日) ①午前10時30分 ②午後1時30分 ③午後3時30分 簡単で楽しい工作を行います ●プラネタリウム特別番組「星と音楽のひととき」 2月9日(土)・10日(日) 午後3時~ ●ラプソングと共に星空をお楽しみください ●おもしろ科学ゼミナール 2月11日(月) 午後1時~3時 ●電話申込み ●先着150名 ●不思議で楽しい科学クイズに挑戦しよう

## 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

●川島理一郎展 3月24日(日)まで ●足利市に生まれ、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、そして日本を舞台に活躍した川島の作品、油彩、水彩、素描など約130点により60年間に及ぶ自由闊達な画業を回顧します



舞妓 (1954年頃)

## 県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

●テーマ展「木の良さを再発見」 ●開催中



スギ



木の机

●講座「すまいの道具」 1月17・24・31日(いずれも木)全3回 ●電話申込み  
●連続講座「地球と生命の歴史」 2月3・10・17・24日(いずれも日)・3月2日(土)全5回 ●電話申込み

## 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

●レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」全3幕4場 1月26日(土)午後5時開演  
●とちぎ舞台芸術アカデミー2001(音楽部門)ピアノコンクール入賞者演奏会&宮谷理香ピアノリサイタル 2月17日(日)午後3時開演 ●入場整理券受付中 ●2月5日(火)までに往復ハガキで



白鳥の湖

## お知らせ

# Information

## 催し・講座

●とちぎ花センター(岩舟町)「早春の鉢花展」 2月3日(日)まで ●春の華やかな鉢花(県内産)を多数展示します ●観賞大温室入館料 大人420円、小人210円 ●問合せ 同センター ☎0282-55-5775

### ●子宝まつり

●2月3日(日)午前10時~午後3時 ●場所 とちぎ女性センター(宇都宮市) ●内容 志茂田景樹氏のトークショー、着ぐるみショー、育児相談など ●参加無料 ●乳幼児の一時保育あり。希望する方は1月25日(金)までに申込みを ●問合せ 少子化問題を考えるイベント実行委員会(とちぎ青少年こども財団内) ☎028-621-1611

### ●ファミリースキーのつどい

●2月23日(土)~24日(日)1泊2日 ●場所 県立今市少年自然の家 ●内容 スキー教室(初心者向け)、そり遊びほか ●対象 小・中学生とその家族 ●定員 80名(先着順) ●参加費 大人4,900円ほか ●申込締切 2月6日(水) ●問合せ 同少年自然の家 ☎0288-21-7224

### ●バルティ(とちぎ女性センター)の催し

◎ティーサロン ●2月23日(土)午後1時30分~3時 ●内容 池田千鶴子さんのハープコンサート(サ

ロン形式・コピー付き) ●定員 100名 ●入場券 1,000円(バルティ、各プレイガイドで発売中) ●問合せ とちぎ女性センター(宇都宮市) ☎028-665-7706

### ●労働教育講座~労働フォーラム~

●日時・内容 2月5日(火)午前10時~「中高年者の雇用環境」、同日午後1時~「退職、解雇及び保険、年金」、3月7日(木)午後2時~「パート、派遣労働の現状と課題」 ●場所 県庁河内庁舎(宇都宮市) ●参加無料 ●定員 各100名 ●申込締切 開催日の7日前 ●問合せ 県宇都宮労政事務所 ☎028-626-3052

### ●住宅品質確保法に関する講習会

●日時・場所 ①2月19日(火)・矢板勤労者総合福祉センター(矢板市)、②2月20日(水)・プラザイン・くろかみ(宇都宮市)、③2月21日(木)・ホテルマリアージュ仙水(佐野市) ※いずれも午後6時~8時30分 ●内容 住宅品質確保法の概要、バリアフリー住宅について ●参加無料 ●定員 各100名 ●申込締切 2月15日(金) ●問合せ 県住宅課 ☎028-623-2482

## 募 集

### ●肢体不自由の方のための「IT講習会」受講者募集中!

●内容 実用的なパソコンの基本操作など ●参加は無料です。ぜひ、ご参加ください ●申込締切 1月18日(金) ●開催日時など詳細はお問い合わせください ●問合せ 県障害福祉課又は(株)ジーニック内IT講習(肢体)担当 ☎028-658-8100、FAX028-658-8050

### ●県産業技術大学校

平成14年度入学生追加募集

【県央校(宇都宮市) ☎028-689-6374】

機械技術科、制御システム科、設備システム科

【県北校(那須町) ☎0287-64-4000】

生産エンジニア科、通信エンジニア科、サービスエキスパート科

【県南校(足利市) ☎0284-91-0803】

機械システム科、電気システム科

●募集定員 各科若干名 ●募集期間 3月20日(水)まで(ただし、定員になり次第、募集を締め切ります) ●願書受付時に試験日を指定します ●問合せは各校へ

## 案 内

### ●福祉のしごと移動相談会

●日時・場所 ①1月19日(土)・矢板勤労者総合福祉センター(矢板市)、②2月2日(土)・小山市保健福祉センター ※いずれも午前10時30分~午後3時(受付終了午後2時30分) ●福祉の仕事に就きたい方に福祉職の紹介・あっせん、求人状況、資格取得、学校案内などの情報提供、相談を行います ●相談無料 ●問合せ 栃木県福祉人材・研修センター ☎028-643-5622

### ●確定申告は郵送でお早めに!

●平成14年1月から所得税の確定申告書の様式が新しくなりました ●所得税の還付を受けるための確定申告書は今年から提出できます ●申告会場は大変混雑しますので、申告書の提出は郵送でお早めに ●宇都宮税務署、栃木税務署とも3月末まで駐車場が使用できません ●詳しくは最寄りの税務署まで

## 県の広報番組 とちぎテレビ

●クロースアップ 1月19日 とちぎ農産物マーケティング協議会  
26日 ストッパ・ガ・交通事故  
2月2日 男女共同参画社会  
9日 ふれあい学習課活躍中!

●アワー 1月20日 とちぎの伝統工芸  
27日 とちぎの農産物・冬  
2月3日 Jr.知事さん 他  
10日 世界に開かれた栃木



1月20日放送「とちぎの伝統工芸」(南河内町)

●わがまち発見伝  
1月17日 渡辺貞夫と仲間たち  
24日 奥日光写真クラブ  
31日 真岡北陸高のCM作り  
2月7日 東山道  
14日 ダンスグループAD<sup>2</sup>

●特別番組 オペラ「日光」  
2月3日(日)21:00~22:45  
話題のオペラ東京公演を完全収録しました

●問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

## TOPICS

## とびくす

## TOPICS

### ジュニア知事さんを表彰



元気いっぱいジュニア知事さんたち

「もし私が知事になったらこんなことをしてみたい」をテーマに、小学校4・5・6年生を対象として、昨年7月から9月にかけて提案を募集しました。

1,031名の児童から応募があり、15名(各学年5名)が知事賞(ジュニア知事さん)に選ばれました。12月3日には、県公館で福田知事から表彰状が手渡されました。

希望する方には、入選作品集をお送りします。

◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

### 国会等移転の実現に向けて



1,000人を超える参加者の前で決意表明する知事

12月4日、国会議事堂前の憲政記念館で「国会等移転実現総決起大会」が行われました。これは、3つの移転先候補地の国会議員や知事などが団結して国会等移転の早期実現のために開催したものです。

福田知事は北東地域を代表し「新しい日本の国づくりのきっかけとなるのが国会等の移転である」と決意を表明。大会の最後には、移転の実現に向けた決議が採決されました。

◇問合せ 県企画調整課国会等移転対策室 ☎028-623-2209

### とちぎ将来構想懇談会を設置



「次の世代に贈り物を残したい」とあいさつする知事

県では、中長期的な視点から県政を展望し、課題と取組方向を明らかにする「とちぎ将来構想(仮称)」を策定するため、「とちぎ将来構想懇談会」を設置しました。委員は、有識者や公募で選ばれた方など20名です。第1回目の懇談会を12月21日、県公館で開催。県の将来に対する期待・意見などが寄せられました。構想は、県民の皆さんの意見なども活用し、平成14年度中に策定することとしています。

◇問合せ 県企画調整課 ☎028-623-2206



●名前は「エコキーパー」です! 栃木県地球温暖化防止イメージキャラクター愛称決定 ●名前の由来は「地球環境を守る(エコロジーキープ)」から ●314点の応募作品の中から決定しました ●多数のご応募ありがとうございました